

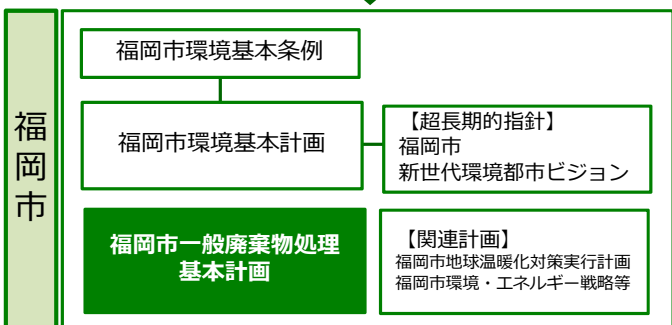
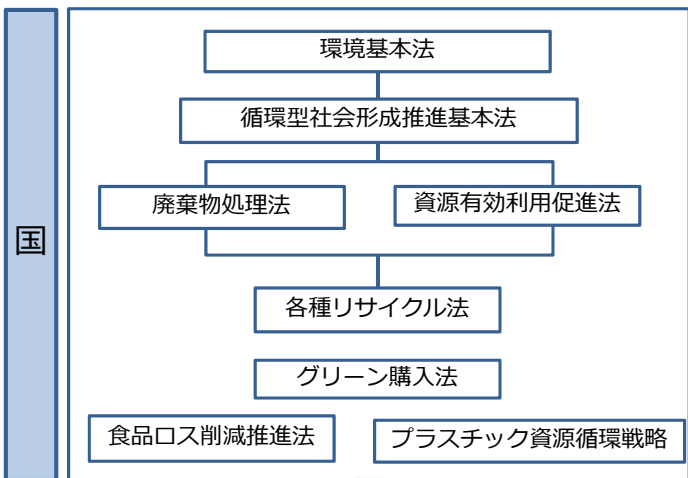
## 第1章 計画策定の考え方

### (1) 計画策定の経緯・趣旨

- 福岡市では、2011年度に「新循環のまち・ふくおか基本計画（第4次福岡市一般廃棄物処理基本計画）」を策定し、「元気が持続する循環のまち・ふくおか」を基本テーマとして、「福岡式循環型社会システムの構築」を推進
- 前計画策定から10年近く経過する中、人口や事業所数が増加するなど社会状況が大きく変化
- SDGs、パリ協定、国の環境基本計画など総合的・長期的な政策の方向性が決定
- プラスチックごみや食品ロスといった新たな課題などへの対応が必要

### (2) 計画の位置付け

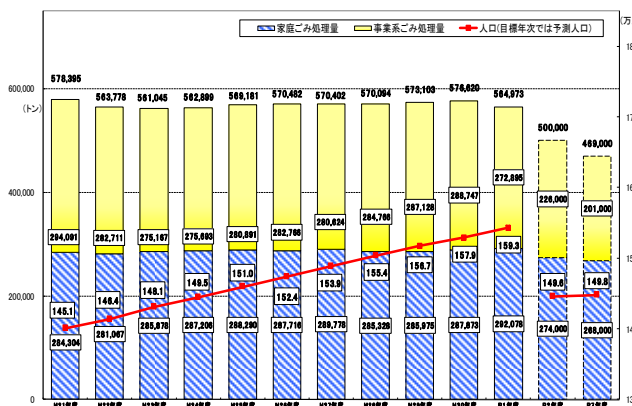
- 廃棄物処理法に基づく**一般廃棄物処理計画**かつ長期的かつ総合的な視点で**循環型社会の形成を推進する計画**
- 食品ロス削減推進法に基づく**市町村食品ロス削減推進計画**
- プラスチック資源循環戦略を踏まえた**プラスチック削減推進計画**



## 第2章 ごみ処理等の現状

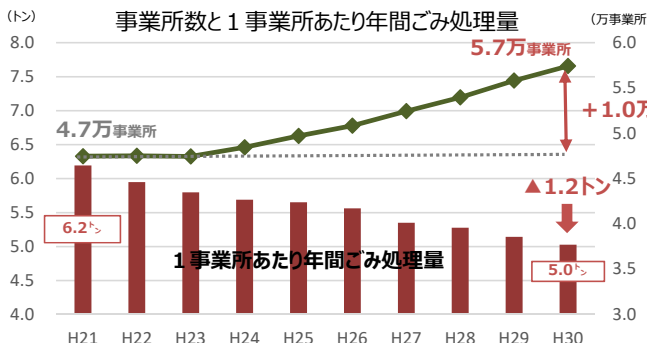
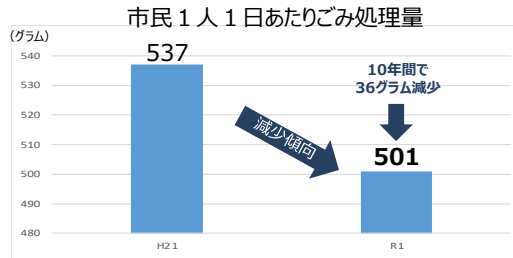
### (1) 現状

#### 【ごみ処理量】



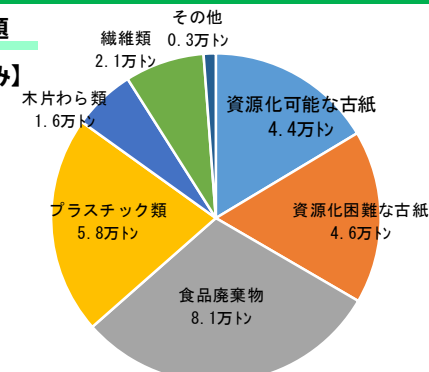
想定以上に人口・事業所数が増加する中、市民・事業者のごみ減量・リサイクルの取り組みにより、ごみ処理量はほぼ横ばいで推移

#### 【原単位】



### (2) 課題

#### 【家庭ごみ】



家庭系可燃ごみ組成（2019年度）

#### 【古紙】

- 「雑がみ」回収の認知度向上

#### 【プラスチックごみ】

不要なものを断る「リフューズ」の推進

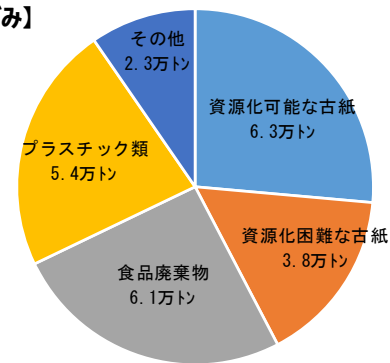
- プラスチックごみ処理のあり方検討

#### 【食品廃棄物】

- 発生抑制を促す施策の強化

- 生ごみたい肥化等の推進

#### 【事業系ごみ】



事業系可燃ごみ組成（2019年度）

#### 【古紙】

- 「雑がみ」回収の認知度向上

- 分別しやすい仕組みの導入

#### 【食品廃棄物】

- 業種別の対策

- フードバンクの活用に関する広報啓発の強化

- 新規資源化施設の誘致

## 第3章 計画の基本的事項

### (1) テーマ・基本方針

**テーマ**

**みんなでつろう！ 活力ある未来へつなぐ「循環のまち・ふくおか」**

- 福岡市に関わる全てのステークホルダーの参画を目指します
- 持続可能な社会を実現し、安全・安心な生活環境を将来世代に受け継ぎます
- 地域の活力が最大限に発揮される都市を目指します

**基本方針**

<b>基本方針 1</b> 都市特性を踏まえた循環型社会づくり	<b>基本方針 2</b> イノベーションとコミュニティによる地域循環共生圏の創造	<b>基本方針 3</b> 持続可能なライフスタイルとビジネススタイルへの転換	<b>基本方針 4</b> 適正処理の更なる推進
------------------------------------	--	--	-----------------------------

**施策の方向性**

<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境配慮型商品の普及促進</li> <li>○交流人口をターゲットとした3Rの推進</li> <li>○単身者や高齢者等の多様なライフスタイルに対応した資源循環の推進</li> </ul> <p style="text-align: right;">(主なSDGsのゴール) <b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○設計段階からの環境配慮型商品の開発支援</li> <li>○ICT・AIを活用したシェアリング等の2Rビジネスの促進</li> <li>○多様なコミュニティによる都市と自然が調和した資源循環の確立</li> </ul> <p style="text-align: right;">(主なSDGsのゴール) <b>17</b> パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○持続可能な消費行動への転換</li> <li>○手つかず食品、食残しなどによる食品ロスの削減</li> <li>○事業系古紙の資源化推進</li> <li>○ESG投資の普及促進</li> <li>○ファンドの活用</li> </ul> <p style="text-align: right;">(主なSDGsのゴール) <b>12</b> つくって使えば、ずっと豊か</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適正処理のに向けた基盤整備の推進</li> <li>○大規模災害時に対応できる廃棄物処理体制の構築</li> <li>○温室効果ガス排出量削減の推進</li> <li>○海洋プラスチックごみ対策、不法投棄対策の推進</li> </ul> <p style="text-align: right;">(主なSDGsのゴール) <b>13</b> 気候変動に具体的な対策を</p>
---	--	---	--

### (2) 重点3品目（古紙、プラスチックごみ、食品廃棄物）における減量施策

○可燃ごみの多数を占める古紙、プラスチックごみ、食品廃棄物の3種類を重点3品目として、減量施策を実施

古紙	プラスチックごみ	食品廃棄物
<p><b>【施策の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○民間事業者へのグリーン購入の普及・促進</li> <li>○地域特性に応じた地域集約回収のあり方検討</li> <li>○事業系古紙の資源化促進</li> </ul>	<p><b>【施策の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○業界団体と連携したバイオマスプラスチックの普及促進</li> <li>○産学官連携による環境配慮型商品の開発支援</li> <li>○マイバック・マイボトルの普及・促進</li> <li>○事業者の地域清掃活動への参加促進</li> </ul>	<p><b>【施策の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○駅、空港、宿泊施設等の施設特性に応じた発生抑制の推進や資源化推進モデル事業</li> <li>○多様な主体との連携による資源化の取組み支援</li> <li>○消費期限等の理解促進、フードライブの推進</li> <li>○事業系食品廃棄物の資源化推進</li> </ul>

### (3) 計画期間

① 基準年度 2019年度

② 計画期間：10年間  
2021年度～2030年度

※10年間の基本方針や目標を示す「長期ビジョン」と5年毎に社会状況に合わせた具体的施策を定める「実行計画」で構成



図：計画の構成

### (4) 数値目標

○ごみ処理量 ○家庭ごみ原単位 ○事業系ごみ原単位

※原案策定時に目標値を設定

【取組指標】施策の効果を多面的に把握するため、基本方針・重点3品目ごとに取組指標を設定

### (5) ごみ処理量の将来推計（一次推計） ※現行のごみ減量施策を継続した場合の推計

○人口・事業所数は増加するものの、市民・事業者によるごみ減量・リサイクルの取組みによりほぼ横ばいで推移

○原案策定時に新規施策によるごみ減量効果を加味した二次推計を実施

